

事業活動温暖化対策計画書（特定大規模事業者用）

平成 29 年 7 月 27 日

神奈川県知事殿

郵便番号 330 - 0846
住 所 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105
やすなビル6階
氏 名 株式会社 ハイデイ日高
代表取締役社長 高橋 均



神奈川県地球温暖化対策推進条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあっては、代表者の氏名		株式会社 ハイデイ日高 代表取締役社長 高橋 均		
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105 やすなビル6階		
特定大規模事業者の区分	<input type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則（以下「規則」という。）第2条第1号該当の事業者）	原油換算エネルギー使用量の合計量	うち k l
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（規則第2条第2号該当の事業者）		うち k l
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を用100台以上使用する事業者（規則第2条第3号該当の事業者）	使用台数	うち 台
主たる事業の業種	大 分 類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業 <input type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input checked="" type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> R サービス業（他に分類されないもの） <input type="checkbox"/> S 公務（他に分類されるものを除く）		
	中 分 類	M 76 飲食店		
連絡先	部 署 名 営業管理部 店舗設備管理室 電 話 番 号 048 - 644 - 3231 F A X 番 号 048 - 640 - 6114 電子メールアドレス			
※受付欄			※特記欄	

(第2面)

2 計画期間

29 年度 ～ 31 年度

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の削減を図るための基本方針

*地球環境の負荷を減らした店作りを推進し社会に貢献する

4 エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	基準年度	28年度 (年度～ 年度)			
	基準排出量の合計量	(実) 6,090 (調) 6,030	tCO ₂	最終年度における排出量の合計量	(実) 5,907 (調) 5,870 tCO ₂
	目標削減率	(実) 3.00 (調) 2.65	%		
県内に設置している全ての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	原単位の指標の種類	床面積×営業時間		排出量原単位の単位	tCO ₂ / 千m ² ・千時間
	基準年度における排出量原単位	(実) 1.555 (調) 1.54	tCO ₂ /千m ² ・千時間	最終年度における排出量原単位	(実) 1.508 (調) 1.499 tCO ₂ /千m ² ・千時間
	目標削減率	(実) 3.00 (調) 2.65	%		
	生産数量又は建物延床面積以外の値を原単位の指標として使用する場合にあっては、その理由	飲食店では、営業時間に比例して排出量が増えるので床面積と営業時間を原単位の指標としました。			
エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標の設定に関する説明	<p>弊社では、全店舗にエネルギー計測装置を取り付け、電気・ガスの使用量をリアルタイムで計測しています。 また社内にエネルギー使用量を公表して、従業員の節電意識の向上に役立てています。</p> <p>CO2排出量の削減目標は、前回と同様に年間1%の削減を目標とし、3年間で合計3%とします。</p>				

設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	工場等における排出量	基準排出量の合計量	(実) tCO ₂ (調)	最終年度における排出量の合計量	(実) tCO ₂ (調)
		目標削減率	(実) % (調)		
	工場等における排出量原単位	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位	
		基準年度における排出量原単位	(実) tCO ₂ (調)	最終年度における排出量原単位	(実) tCO ₂ (調)
	目標削減率	(実) % (調)			

(第4面)

5 エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等 (規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用している全ての対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	基準年度	年度 (年度～ 年度)		最終年度における排出量の合計量	tCO ₂	
	基準排出量の合計量	tCO ₂				
	目標削減率	%				
県内で使用している全ての対象自動車の排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
	基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位		
	目標削減率	%				
	走行距離又は輸送量以外の値を原単位の指標として使用する場合には、その理由					
エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標の設定に関する説明						
対象自動車の使用状況	使用台数			割合		
	総数	台				
	うち電気自動車	台		%		
	うち天然ガス自動車	台		%		
	うちハイブリッド自動車	台		%		
うちディーゼル代替LPガス自動車	台		%			
使用している全ての自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	自動車における排出量	基準排出量の合計量	tCO ₂	最終年度における排出量の合計量	tCO ₂	
		目標削減率	%			
	自動車における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位	
		基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位	
		目標削減率	%			

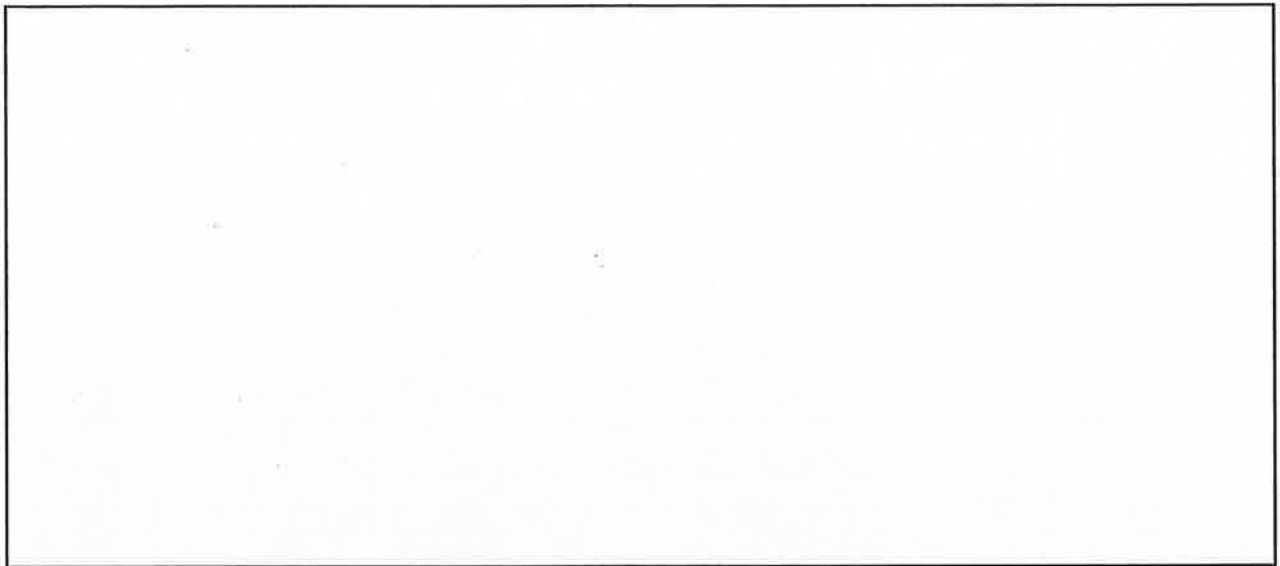
(第5面)

6 エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための措置の内容

<p>工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)</p>	<p>1105 エネルギー使用量の管理 エネルギー計測装置を全店舗に設置してリアルタイムで監視する。 1201 空気調和設備対策 空調機の清掃を年1回、フィルター清掃を2か月に1回実施する。 1401 照明設備対策 客席とトイレにLEDを取り入れた照明プランを計画する。</p>
<p>対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第3号該当の事業者)</p>	
<p>再生可能エネルギー等の導入その他の具体的な措置</p>	

(第6面)

7 地域の地球温暖化対策の推進への貢献



8 温室効果ガスの排出の抑制に寄与する製品の開発その他の温室効果ガスの排出の抑制等に関する取組

現在、各店舗においてガスによる自動餃子焼き器を使用していますが、これに代わる省エネ型の機器（ガスの使用量10%削減を目標とした自動餃子焼き器）を開発中です。



(第8面)
(個別票)

11 エネルギー管理指定工場ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標及び当該目標を達成するための措置の内容

(1) 工場等の名称等

工場等の名称	
工場等の所在地	
工場等の規模	建築物の延べ面積 m²
連絡先	部署名
	電話番号 - -
	FAX番号 - -
	電子メールアドレス

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等

工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	基準排出量 (実)	tCO ₂	最終年度における排出量 (実)	tCO ₂
	目標削減率 (実)	%		
工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標等	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位	
	基準年度における排出量原単位	(実)	最終年度における排出量原単位	(実)
	目標削減率	(実) %		
	生産数量又は建物延床面積以外の値を原単位の指標として使用する場合にあっては、その理由			
エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標の設定に関する説明				

(3) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための措置の内容

	対策の区分		対策の内容
	番号	名称	
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

- 備考 1 ※印の欄は、記入しないでください。
- 2 □のある欄には、該当する□内にレ印又は■を付してください。
- 3 第1面の1の「主たる事業の業種」の欄には統計法第28条の規定に基づき、産業に関する分類を定める件（平成25年総務省告示第405号）に定める日本標準産業分類の大分類及び中分類を、第7面の9及び10の「日本標準産業分類における細分類番号」の欄には日本標準産業分類の細分類番号を記入してください。
- 4 第2面の3の欄には、計画書を作成するに当たっての基本的な考え方を記入してください。
- 5 第5面の6の欄には、エネルギー起源二酸化炭素の削減の目標を達成するための事業者の対策を具体的に記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
- 6 第6面の7の欄には、中小企業への省エネルギー技術の普及・移転、環境教育の実施、森林の保全・緑化の推進などの分野をはじめとする具体的な取組を記載してください。
- 7 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。
- 8 規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごとに、エネルギー起源二酸化炭素排出量の算定の根拠を明らかにする書類を添付してください。また、個別票には、使用している設備の管理状況及び排出の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。
- 9 規則第2条第3号該当の事業者にあつては、エネルギー起源二酸化炭素排出量の算定の根拠を明らかにする書類並びに使用している対象自動車の管理状況及び排出の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容が確認できる書類を添付してください。

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)		
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B (GJ)		(業排出係数)	(調整後排出係数)	
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0	
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0	
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0	
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0	
灯油		kl	0		kl	0	0	0	0	
軽油		kl	0		kl	0	0	0	0	
A重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0	
石油コークス		t	0		t	0	0	0	0	
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	104	t	5,283		t	0	5,283	312	312
	石油系炭化水素ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0		t	0	0	0	0
	その他可燃性天然ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
石炭	原料炭		t	0		t	0	0	0	0
	一般炭		t	0		t	0	0	0	0
	無煙炭		t	0		t	0	0	0	0
石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
都市ガス	45.0	1,003	千m³	45,135		千m³	0	45,135	2,251	2,251
小計			50,418			0	50,418	2,563	2,563	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	7,053	千kWh	70,318		千kWh	70,318	3,527	3,463
		夜間買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
	自家発電		千kWh			千kWh				
小計			70,318					3,527	3,463	
原油換算エネルギー使用量 3,115 kl							合計	6,090	6,026	tCO2
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)								6,090	6,030	tCO2

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

※原単位を設定しない場合は、以下については入力の必要はありません。

二酸化炭素排出量原単位計算表

排出量原単位の指標の量	排出量原単位の単位 延床面積(千m ²) × 営業時間(千時間)	排出量原単位	
		(実排出係数)	(調整後排出係数)
3,915		1.55556	1.54023
			tCO2/延床面積(千m ²)

結果報告書(特定大規模事業者用)

平成 29 年 7 月 27 日

神奈川県知事殿

郵便番号 330 - 0846
住 所 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105
やすなビル6階
氏 名 株式会社 ハイデイ日高
代表取締役社長 高橋 均



神奈川県地球温暖化対策推進条例第15条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあっては、代表者の氏名		株式会社 ハイデイ日高 代表取締役社長 高橋 均		
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105 やすなビル6階		
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者(神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則(以下「規則」という。)第2条第1号該当の事業者)	原油換算エネルギー使用量の合計量	3,115 k1
			うち	1,066 k1
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者(規則第2条第2号該当の事業者)		k1
			うち	k1
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者(規則第2条第3号該当の事業者)	使用台数	台
			うち	台
主たる事業の業種	大 分 類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業 <input type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input checked="" type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> R サービス業(他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S 公務(他に分類されるものを除く)		
	中 分 類	M 76 飲食店		
連絡先	部 署 名 営業管理部 店舗設備管理室 電 話 番 号 048 - 644 - 3231 F A X 番 号 048 - 640 - 6114 電子メールアドレス oono@hiday.co.jp			

※受付欄		※特記欄	
------	--	------	--

2 計画期間

26 年度 ~ 28 年度

3 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標(規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置している工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	25 年度 (年度 ~ 年度)			
	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量	計画の初年度の排出量の合計量	2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量
		(実) 4,760 tCO ₂ (調) 4,110	(実) 5,260 tCO ₂ (調) 4,560	(実) 5,640 tCO ₂ (調) 4,890	(実) 6,270 tCO ₂ (調) 5,430
		4年度目の排出量の合計量	5年度目の排出量の合計量	目標とした最終年度の排出量の合計量	削減率
(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) 4,617 tCO ₂ (調) 4,001	(実) -31.72 % (調) -32.12		
県内に設置している工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類	床面積×営業時間	排出量原単位の単位	tCO ₂ / 千m ² ・千時間	
	年度ごとの排出量原単位の推移	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位
		(実) 3.34 tCO ₂ /千m ² ・千時間 (調) 2.88	(実) 2.98 tCO ₂ /千m ² ・千時間 (調) 2.58	(実) 2.41 tCO ₂ /千m ² ・千時間 (調) 2.09	(実)1.60146 tCO ₂ /千m ² ・千時間 (調)1.38691
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率
(実) tCO ₂ /千m ² ・千時間 (調) tCO ₂ /千m ² ・千時間	(実) tCO ₂ /千m ² ・千時間 (調) tCO ₂ /千m ² ・千時間	(実) 2.41 tCO ₂ /千m ² ・千時間 (調) 2.09	(実) 52.05 % (調) 51.84		
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p>エネルギー計測装置を取り付け、電気・ガスの使用量をリアルタイムで計測しています。電気やガスの使用量をリアルタイムで計測する事により、照明の点灯時間短縮や、営業前の準備時間での節電など、省エネに取り組みやすい対策を実施しています。</p> <p>空調機清掃を年一回実施し、フィルター清掃を2ヵ月に1回実施するように各店舗に指導した結果、エネルギーの削減効果が有りました。</p> <p>照明器具の人体センサーは、トイレにしか設置できず、効果が期待できなかったため計画を取りやめましたが、LED照明にすることによって電力使用量を削減することが出来ました。</p> <p>新店では、トイレとすべての客席部分について、LED照明にすることにより電力使用量を削減できるように設計しています。</p> <p>既存店でも、順次照明器具をLED照明に更新しており、ガス使用量の少ない調理機器の開発なども実施し、エネルギー使用量の低減を図っています。</p>				

設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量	計画の初年度の排出量の合計量	2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量
		(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂
		4年度目の排出量の合計量	5年度目の排出量の合計量	目標とした最終年度の排出量の合計量	削減率
	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) % (調) %	
年度ごとの排出量原単位の推移	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位		
	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	
	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	
	4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率	
(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) tCO ₂ (調) tCO ₂	(実) % (調) %		

(第3面)

4 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標(規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用している全対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度 年度ごとの排出量の推移	年度 (年度～ 年度)		2年度目の排出量の合計量 tCO ₂	3年度目の排出量の合計量 tCO ₂
		基準排出量の合計量 tCO ₂	計画の初年度の排出量の合計量 tCO ₂		
		4年度目の排出量の合計量 tCO ₂	5年度目の排出量の合計量 tCO ₂		
		目標とした最終年度の排出量の合計量 tCO ₂	削減率 %		
県内で使用している全対象自動車の排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類 年度ごとの排出量原単位の推移	排出量原単位の単位		2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位
		基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位		
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位		
		目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率 %		
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明					
対象自動車の使用状況	使用台数			割合	
	総数	台			
	うち電気自動車	台	%		
	うち天然ガス自動車	台	%		
	うちハイブリッド自動車	台	%		
	うちディーゼル代替LPガス自動車	台	%		
使用している全対象自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出に関する状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量 tCO ₂	計画の初年度の排出量の合計量 tCO ₂	2年度目の排出量の合計量 tCO ₂	3年度目の排出量の合計量 tCO ₂
		4年度目の排出量の合計量 tCO ₂	5年度目の排出量の合計量 tCO ₂	目標とした最終年度の排出量の合計量 tCO ₂	削減率 %
		原単位の指標の種類		排出量原単位の単位	
		基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位
	年度ごとの排出量原単位の推移	4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率 %
					%

(第4面)

5 エネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための措置の内容

	計画	実施の結果
<p>工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)</p>	<p><1105> エネルギー使用量の管理 エネルギー計測装置を全店舗に設置してリアルタイムで監視する。</p> <p><1201> 空調設備対策 空調機の清掃を年1回、フィルター清掃を2か月に1回実施する。</p> <p><1401> 照明設備対策 人感センサーとLEDを取り入れた照明プランを計画する。</p> <p><3901> 建物設備対策 平成24年着工の、セントラルキッチンに太陽光発電、太陽熱利用、都市ガスコージェネレーションの導入を検討している。</p>	<p>エネルギー監視システムを全店に設置し、各店舗のエネルギー使用データを活用する事により省エネルギーにつながった。</p> <p>空調機清掃を年一回実施し、フィルター清掃を2か月に1回実施するように各店舗に指導した結果、エネルギーの削減効果があった。</p> <p>人感センサーについてはトイレにしか設置できず、効果が期待できなかったので取りやめた。トイレとすべての客席部分について、LED照明に改修した結果、省エネルギーにつながった。</p> <p>建築コストが上がった為、導入の計画を断念した。</p>
<p>対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第3号該当の事業者)</p>	<p>計画</p>	<p>実施の結果</p>
<p>再生可能エネルギー等の導入その他の具体的な措置</p>	<p>計画</p>	<p>実施の結果</p>

(第4面) 別紙1

	計画	実施の結果
<p>工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)</p>		

	計画	実施の結果
対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための具体的な措置(規則第2条第3号該当の事業者)		

	計画	実施の結果
再生可能エネルギー等の導入その他の具体的な措置		

(第5面)

6 地域の地球温暖化対策の推進への貢献

計画	実施の結果

7 温室効果ガスの排出の抑制に寄与する製品の開発その他の温室効果ガスの排出の抑制等に関する取組

計画	実施の結果
<p>スープレンジを、ガスコンロと寸胴を使って沸騰させる方法から、スープの温度を100℃以下で一定に保つ制御をしてガス消費量を減らしたスープウォーマーに変更した。スープウォーマーは、日本洗浄機㈱との共同開発で全店舗で使用している。今後も、省エネの厨房機器を共同開発していく予定です。</p>	<p>開発したスープウォーマーを順次全店舗に導入し、新規店舗にも導入している。</p> <p>自動餃子焼き器について、ガス使用量の10%削減出来る機器を開発していく予定である。</p>

(第7面)
(個別票)

10 エネルギー管理指定工場等ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況、削減の目標及び当該目標を達成するための措置の内容

(1) 工場等の名称等

工場等の名称			
工場等の所在地			
工場等の規模	建築物の延べ面積		m ²
連絡先	部署名 電話番号 - - F A X 番号 - - 電子メールアドレス		

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標

工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量	計画の初年度の排出量	2年度目の排出量	3年度目の排出量
		(実) tCO ₂	(実) tCO ₂	(実) tCO ₂	(実) tCO ₂
		4年度目の排出量	5年度目の排出量	目標とした最終年度の排出量	削減率
		(実) tCO ₂	(実) tCO ₂	(実) tCO ₂	(実) %
工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位		
	年度ごとの排出量原単位の推移	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位
		(実)	(実)	(実)	(実)
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率
	(実)	(実)	(実)	(実) %	
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明					

(3) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の削減の目標を達成するための措置の内容

	対策の区分		対策の内容	実施状況	未実施の理由
	番号	名称			
1				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
2				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
3				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
4				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
5				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
6				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
7				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
8				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
9				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
10				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
11				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
12				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
13				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
14				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
15				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	

- 備考
- ※印の欄は、記入しないでください。
 - のある欄には、該当する内にレ印又は■を付してください。
 - 第1面の1の「主たる事業の業種」の欄には統計法第28条の規定に基づき、産業に関する分類を定める件(平成25年総務省告示第405号)に定める日本標準産業分類の大分類及び中分類を、第6面の8及び9の「日本標準産業分類における細分類番号」の欄には日本標準産業分類の細分類番号を記入してください。
 - 第4面の5の欄には、エネルギー起源二酸化炭素の削減の目標を達成するための事業者の対策の計画及び実施の結果を具体的に記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
 - 第5面の6の欄には、中小企業への省エネルギー技術の普及・移転、環境教育の実施、森林の保全・緑化の推進などの分野をはじめとする具体的な取組の計画及び実施の結果を記載してください。
 - 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。
 - 規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごとに、最終年度におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量の算定の根拠を明らかにする書類を添付してください。また、個別票には、使用している設備の管理状況及び排出の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。
 - 規則第2条第3号該当の事業者にあつては、最終年度におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量の算定の根拠を明らかにする書類、使用している自動車の管理状況及び排出の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容が確認できる書類を添付してください。

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)		
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)		(実排出係数)	(調整後排出係数)	
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0	
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0	
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0	
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0	
灯油		kl	0		kl	0	0	0	0	
軽油		kl	0		kl	0	0	0	0	
A重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0	
石油コークス		t	0		t	0	0	0	0	
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	104	t	5,283		t	0	5,283	312	312
	石油系炭化水素ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0		t	0	0	0	0
	その他可燃性天然ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0
石炭	原料炭		t	0		t	0	0	0	0
	一般炭		t	0		t	0	0	0	0
	無煙炭		t	0		t	0	0	0	0
石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
コークス炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
転炉ガス		千m ³	0		千m ³	0	0	0	0	
都市ガス	45.0	1,003	千m ³	45,135		千m ³	0	45,135	2,251	2,251
小計			50,418			0	50,418	2,563	2,563	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	7,053	千kWh	70,318		千kWh	70,318	3,703	2,864
		夜間買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		自家発電		千kWh			千kWh			
小計			70,318					3,703	2,864	
原油換算エネルギー使用量			3,115 kl	合計			6,266	5,427	tCO2	
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							6,270	5,430	tCO2	

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

※原単位を設定しない場合は、以下については入力の必要はありません。

二酸化炭素排出量原単位計算表

排出量原単位の指標の量	排出量原単位の単位	排出量原単位	
		(実排出係数)	(調整後排出係数)
3,915	延床面積(千m ²) × 営業時間(千時間)	1.60146	1.38691

tCO2/延床面積(千m²)

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)		
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)		(実排出係数)	(調整後排出係数)	
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0	
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0	
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0	
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0	
灯油		kl	0		kl	0	0	0	0	
軽油		kl	0		kl	0	0	0	0	
A重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0	
石油コークス		t	0		t	0	0	0	0	
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	35	t	1,778		t	0	1,778	105	105
	石油系炭化水素ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0		t	0	0	0	0
	その他可燃性天然ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
石炭	原料炭		t	0		t	0	0	0	0
	一般炭		t	0		t	0	0	0	0
	無煙炭		t	0		t	0	0	0	0
石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
都市ガス	45.0	209	千m³	9,405		千m³	0	9,405	469	469
小計			11,183			0	11,183	574	574	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	0
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	1,603	千kWh	15,982		千kWh	15,982	842	651
		夜間買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0
		自家発電		千kWh			千kWh			
小計			15,982					842	651	
原油換算エネルギー使用量			701 kl	合計			1,416	1,225	tCO2	
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							1,420	1,230	tCO2	

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

※原単位を設定しない場合は、以下については入力の必要はありません。

二酸化炭素排出量原単位計算表

排出量原単位の指標の量	排出量原単位の単位	排出量原単位	
		(実排出係数)	(調整後排出係数)
119	延床面積(千m2) ×営業時間(千時間)	11.93277	10.33613
		tCO2/延床面積(千m	

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)	
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)		(実排出係数)	(調整後排出係数)
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0
灯油		kl	0		kl	0	0	0	0
軽油		kl	0		kl	0	0	0	0
A重油		kl	0		kl	0	0	0	0
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0
石油コークス		t	0		t	0	0	0	0
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	50	t	2,540	t	0	2,540	150	150
	石油系炭化水素ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0	t	0	0	0	0
	その他可燃性天然ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0
石炭	原料炭		t	0	t	0	0	0	0
	一般炭		t	0	t	0	0	0	0
	無煙炭		t	0	t	0	0	0	0
石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0
コールタール		t	0		t	0	0	0	0
コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
都市ガス	45.0	438	千m³	19,710	千m³	0	19,710	983	983
小計			22,250			0	22,250	1,133	1,133
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	3,007	千kWh	29,980	千kWh	29,980	1,579	1,221
		夜間買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
	自家発電		千kWh		千kWh				
小計			29,980				1,579	1,221	
原油換算エネルギー使用量			1,348 kl	合計			2,712	2,354	tCO2
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							2,710	2,350	tCO2

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

※原単位を設定しない場合は、以下については入力の必要はありません。

二酸化炭素排出量原単位計算表

排出量原単位の指標の量	排出量原単位の単位	排出量原単位	
		(実排出係数)	(調整後排出係数)
1,005	延床面積(千m²) × 営業時間(千時間)	2.69555	2.33747

tCO2/延床面積(千m²)

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)	
	数値A	単位	熱量A(GJ)	数値B	単位	熱量B(GJ)		(実排出係数)	(調整後排出係数)
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0
灯油		kl	0		kl	0	0	0	0
軽油		kl	0		kl	0	0	0	0
A重油		kl	0		kl	0	0	0	0
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0
石油コークス		t	0		t	0	0	0	0
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	20	t	1,016	t	0	1,016	60	60
	石油系炭化水素ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0	t	0	0	0	0
	その他可燃性天然ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0
石炭	原料炭		t	0	t	0	0	0	0
	一般炭		t	0	t	0	0	0	0
	無煙炭		t	0	t	0	0	0	0
石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0
コールタール		t	0		t	0	0	0	0
コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
都市ガス	45.0	356	千m³	16,020	千m³	0	16,020	799	799
小計				17,036		0	17,036	859	859
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	2,443	千kWh	24,357	千kWh	24,357	1,283	992
		夜間買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計			24,357				1,283	992	
原油換算エネルギー使用量			1,068 kl	合計			2,142	1,851	tCO2
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							2,140	1,850	tCO2

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

※原単位を設定しない場合は、以下については入力の必要はありません。

二酸化炭素排出量原単位計算表

排出量原単位の指標の量	排出量原単位の単位	排出量原単位	
		(実排出係数)	(調整後排出係数)
370	延床面積(千m2) × 営業時間(千時間)	5.77832	4.99527

tCO2/延床面積(千m